

竹田市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】	
① 「大分県学力定着状況調査」「全国学力・学習状況調査」で県平均を超える学校を増やす	③ 協調学習(ジグソー法)の推進
② 生活習慣の陥没項目の改善 テレビ視聴 4時間以上10%(小・中ともに) 学習時間 30分以下 (小5%、中3%)	④ 校内研究の充実させ、授業改善を図る
達成指標	取組指標
① 「県学力定着状況調査」「全国学力・学習状況調査」で県平均を超える学校数 小5:H27 (5/12)→ H28 (10/12) 小6:H27 (3/12)→ H28 (6/12) 中2:H27 (3/ 6)→ H28 (6/ 6) 中3:H27 (4/ 6)→ H28 (6/ 6)	① 「県学力定着状況調査」「全国学力・学習状況調査」で県平均を超える学校を増やすために ・B問題対応(「活用力」育成)授業の推進 ・算数における個に応じたきめ細かな指導の充実 ・国語におけるA問題対応(「基礎・知識力」育成) ・学校図書館を活用した言語活動の充実 ・小学校における効果的な教科担任制の推進
② 生活習慣の陥没項目の改善 テレビ視聴 4時間以上10%(小・中ともに) 学習時間 30分以下 (小5%、中3%)	② 生活習慣の陥没項目の改善 ・竹田市「生活のTOP10」の陥没項目の割合を減らす ・竹田市教育のまちTOP運動生徒指導PTによる分析・考察年2回実施
③ 協調学習(知識構成型ジグソー法)を取り入れた授業を実践する教員100%をめざすことによって子どもたちにあきらめずに答えたり、説明する力がつき、B活用問題の記述式問題の正答率を全国平均+3.0	③ 協調学習(知識構成型ジグソー法)を取り入れた授業実践 ・協調学習ST主催の研修会に、初心者全員参加 ・学力向上支援教員の公開授業 全教職員が参観 ・互見授業・校内研究の計画を5月に作成PDCAサイクルの活用
④ 校内研究の充実させ、授業改善を図る 授業改善を試みたという教員100%をめざす	④ 校内研究の充実させ、授業改善を図る ・互見授業を年間1人2回以上実施・研究授業を年間1人1回ずつ実施 ・校長・教頭・指導教諭による授業観察

行動計画

<p>① 授業改善に関する行動計画</p> <p>ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理職による授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・授業観察および指導 ○小学校教科担任制の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校で先進的取組を行っていく。(豊岡小) さらに実施校の拡大を図っていく。 ○指導教諭・学力向上支援教員の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭による自校指導・校内研修の充実、学力向上支援教員による公開授業 ・学力向上支援教員による他校支援(各学校2回以上) ・学力向上支援教員による公開授業(年間3回以上) <p>イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○習熟度別指導推進教員の配置により、児童生徒の習熟の程度に応じて指導する。 <p>ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校による学校図書館活用授業の推進(竹田市指定校図書館活用授業研究校) ・竹田市全教職員への周知と共有化～学校図書館活用授業研究会による共有化 ・教務主任会議、各種会議での報告、共有データフォルダの作成 <p>エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育課程研究協議会による小・中学校教科部会の取組内容を管内各小・中学校への還流を図る <ul style="list-style-type: none"> 5月:組織の立ち上げ 6月:教科部会の開催 10月:研究授業、研究協議会の開催、教科部会の開催 12月:大分県教育課程研究協議会の参加、報告 ○豊肥・佐伯地区英語教育研究会の充実
<p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画</p> <p>学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「求められている学力」の共通理解と「思考力」「判断力」「表現力」を意識した授業改善 ②教育課程研究協議会教科部会作成による学力実態調査の実施と分析 ③低学力層の児童生徒への指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別少人数指導でのスモールステップによる指導方法の工夫 ・帯タイム、放課後補充時間の設定によるきめ細かな指導体制の工夫 ④市教委作成「生活のTOP10」「学習のTOP10」の周知・徹底・指導 <ul style="list-style-type: none"> ※生活習慣(メディア利用)の改善を図るためのチラシの保護者配布 ⑤生徒指導・特別支援教育の充実～児童生徒が安心して生活できる学校・学級づくり
<p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画</p> <p>ア 放課後や土曜日の教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日等の教育活動の充実を図る体制の確立をめざす。(月1回の土曜授業の実施)
<p>④ その他</p> <p>ア 協調学習(知識構成型ジグソー法)の「型」を取り入れることによって、共通の「型」を媒介として、振り返る手掛かりができ、校内研究の論議を深める。</p>

|

|